

マイクロマシンアジアセミナー開催される

2000年11月19日(日)～28日(火)にかけて、マレーシア、シンガポール、タイの3カ国でマイクロマシンセミナーを開催しました。マイクロマシンセンターでは、日本からの情報発信、海外の情報収集、および交流を目的とし、毎年2回の割合で海外セミナーを開催していますが、今回、1997年に引き続き、2回目のアジアでの開催となりました。

下記に日本側の講演者および題目を示します。

"MMC Activities and Prospect of Micromachine"	平野隆之, マイクロマシンセンター
"Multiple Distributed Micromachine Systems"	武田宗久, 三菱電機株式会社
"In-Pipe Wireless Inspection Micromachine"	西川英昭, 株式会社デンソー
"The Experimental Microfactory System in Japanese National R&D Project"	古田一吉, セイコーインスツルメンツ株式会社
"Medical Application of Micromachine"	三原 孝士, オリパス光学工業株式会社
"Novel Actuators for Microrobots"	鈴森康一, マイクロマシンセンター

以下、各会場での様子を報告します。

(1) Seminar on Micromachine Technology

マレーシア、クアラルンプール、11月21日(火)

SIRIM Berhadと共催しました。SIRIMは、マレーシア政府が所有する工業技術の標準化と研究を行っている組織です。会場には、SIRIMの関係者やマレー

シアの大学から、合計47名の参加がありました。SIRIM副社長のDr. Othmanのキーノートスピーチの後、日本から6件の講演を行い、技術的な質問を多く受けました。

(2) Singapore-Japan Forum on MEMS

シンガポール、11月23日(水)

共催相手のGinticはNanyang工科大学から独立した、生産技術に関して幅広い分野の研究を行っている国立の研究機関です。セミナーはシンガポールの中心にあるGrand Hyattホテルで行われ、シンガポールの研究所、大学、企業、政府機関などから約90名の参加者を得て盛況に行われました。日本側の6件のほか、シンガポール大学やNanyang大学側から、MEMSを応用したTunneling技術、マイクロジャイロスコープとパッケージング技術、MEMSのシミュレーション技術、光MEMSについての講演がありました。

(3) Micromachine Technology

タイ、バンコク、11月27日(月)

タイ国法人「泰日経済技術振興協会(TPA)」の主催する教育プログラムの一つとして開催されました。TPAはタイの日本留学・研修経験者を中心に設立され、タイ日間の技術プロモーションを行っている団体です。タイの企業、大学等から28人の参加者を得、熱心に聴講されていました。

3国の状況はそれぞれ異なりますが、いずれも新しい技術とその産業化に対して意欲的に取り組んでいる様子が印象づけられました。



マレーシアでのセミナー



タイのセミナー会場